

薬物乱用防止巡回パトロール事業

事例紹介

重点分野雇用創出事業

【医療分野】

この事業で雇用の創出が図られたことをうれしく思います。若者の薬物乱用を未然に防ぐという達成感とともに、こういった社会貢献により、私たちのイメージアップにも繋がるともメリットのある事業と考えています。今後も同事業が継続的に実施され、さらなる雇用の創出が図られることを期待しています。

NPO法人栃木DARC 代表 栗坪 千明さん



事業概要

覚せい剤等の薬物乱用は、未だ終息しておらず、最近では若年層の大麻の乱用が社会問題化するなど深刻な状況であるため、若年層を中心とした啓発活動を強化し、薬物乱用を許さない社会作りを目的とする。

委託先

NPO法人栃木DARC

新たな雇用創出数

5人

事業費

1,613万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月
～平成23年3月

業務内容

中高生の終業時間である午後3時頃からスーパー等の集客力のある場所において、薬物乱用防止啓発活動を行う。

午後7時頃からは県内の繁華街等において、若年層が薬物犯罪に巻き込まれないよう、巡回パトロールを実施する。

MDMA



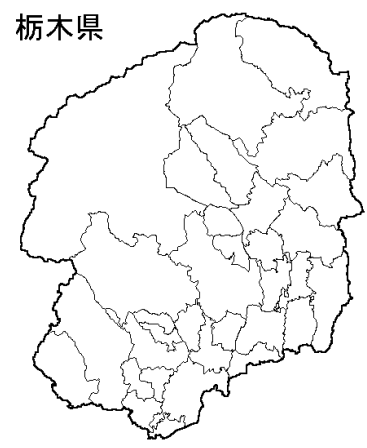
大麻



覚せい剤



栃木県



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

栃木県 0.44倍

薬物乱用に巻き込まれないように・・・

昼のスーパーで



夜の繁華街で



**啓発資材配布は1日200枚以上、
パトロールは月20日以上行っています！！**

パトロール 隊員の声



若年層を薬物乱用から守るということで使命感を感じています。薬物はまず手を出させないことが一番重要です。こういった啓発活動、パトロールを通じて、少しでも社会に役立っていれば幸いです。今後もこのような仕事に携わりたいです。

薬物乱用のない社会を目指して・・・

薬物乱用防止のポイント

国、県、市、地元住民、関係機関等が**連携・協力**して取り組むことが大切です。



ここ数年は、栃木県内でも覚せい剤事犯等が増加傾向にあります。このため一次予防である啓発活動やパトロールを行うことで、青少年が薬物犯罪に巻き込まれないような社会環境づくりを行うことは大変重要です。

今後とも、関係機関や民間団体と連携を図りながら薬物乱用防止に積極的に取り組んで参ります。

栃木県保健福祉部薬務課長
薄井 仁一 さん



《薬物乱用は、「ダメ。ゼッタイ。」》

献血推進支援事業【岡山県】

事業内容

血液製剤の確保における地方公共団体の責務は、法により献血の普及啓発と献血事業の円滑な実施のための必要な措置が定められている。

近年の少子高齢化等により、献血者の確保は年々困難になりつつあり、今後、血液不足の自体が予測される。

このため、献血実施時（移動献血を含む）や街頭等において、普及啓発活動を行うとともに、献血者の確保を促進し、血液の安定確保を図る。

広く普及啓発活動を行うことにより、若年層の方を含めた多くの方々に献血への理解と協力が得られるよう期待しています。



岡山県保健福祉部
医薬安全課長 大森宏真

委託先

岡山県赤十字血液センター

事業費

約1,380万円

期間

平成22年4月1日
～平成23年3月31日まで

新たな雇用創出数

8人

地域雇用失業情勢 (事業開始時点の有効求人倍率)

岡山県管内:0.62倍(季節調整値)
岡山市管内:0.78倍(原数値)



活動写真



夏休み小学生親子見学体験教室



全国学生クリスマス献血キャンペーン

業務内容



献血推進課は、血液センターの受付や事務業務もありますが、それよりも街頭献血での呼び込みなど、外へ出る事が多い仕事です。

時には失敗をすることもあります、何よりドナーの皆様の笑顔が直接見れるやりがいのある仕事です。

← 献血申し込みの説明をする献血推進課の赤木さん。

献血ルーム「ももたろう」で普及啓発を行っております。岡山では唯一の献血ルームということもあって、定期的に献血をして下さる方も大勢いらっしゃいます。初めて来た方もリラックス出来るように、笑顔でいい雰囲気を作る事を心がけています。

献血ルーム「ももたろう」で受付をしている竹中さん→



企画課では、研修や見学、イベント準備などの雑務をはじめ、ホームページの管理運営や、広報活動を行いました。

あまり表には出ませんが、見学研修の方やイベントに参加された方が喜んでくれるとやっぱり嬉しいですね。

← チラシの封筒詰めをする企画課の岡野さん。

今後の課題

若年層の献血者は年々減少傾向にあり、特に10代、20代の献血者数はこの10年間で半分以上に減少しました。

特に岡山県は減少幅が大きく、今後若年層の献血者をどのように確保していくか、という事が大きな課題となっています。

平成22年度：最近のイベント



「岡山県愛の血液助け合い運動」月間の初日行事として、オープニングセレモニーを表町商店街の時計台で行い、岡山赤十字看護学生が持つ横断幕を先頭に、蓮昌寺保育園児の鼓笛隊や岡山シーガルズの選手ら、さらにももっちやうらっちも交え総勢約100名が参加し、パレードを行いました。

